SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：平田機工株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を各フロア、会議室等に掲示している。 ・綱領や経営理念の解釈を現代の思考に沿ったものにすべく検討中。 ・従業員は、毎日朝礼時に経営理念を唱和し、6項目を常に意識している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定や憲章を策定しており、毎月コンプライアンス通信等で法令遵守の重要性を周知している。 ・コンプライアンス委員会を年2回開催し、当社グループにおけるコンプライアンス諸施策の実施状況、推進計画、法令遵守状況などについて審議している。 ・定期的に下請け法や安全保障輸出管理など、コンプライアンスに関する研修を実施し、従業員への啓発を行っている。 ・通報窓口を設置している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンス憲章で公平・公正な取引を定め、顧客や調達先、ビジネスパートナー、国内外の公務員に対して、不当な利益や優遇措置、便宜供与を目的とする接待、贈答、金銭などの供与および授受を行わないことを従業員に周知している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当役員を任命している。 ・環境や法令遵守など実動部署がある。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・従業員等による発明、考案、意匠創作および標章創作に関する届出、権利帰属、報奨の取扱ならびにその発明、考案、特許権、実用新案権、意匠権および商標権の管理について規定している。 ・従業員に知的財産権の研修を行っている。 ・取引先との機密保持の取り決めを行っている。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・コンプライアンス憲章の行動規範の中で、機密情報・個人情報等の管理として定め、個人情報を適切に管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・サプライヤーとの信頼構築の一環として、毎年サプライヤーミーティングを開催している。 ・CSR報告書の発行。 ・個別ミーティングを行っている。 ・顧客満足度調査を毎年実施。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・労働、安全衛生、環境、倫理の項目についてCSR基本方針を策定しており、パートナーシップの構成を図っている。 ・CSR調達アンケートを実施し、顧客とサプライヤーのコミュニケーションに努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを策定している。 ・BCP委員会を設置しており、リスク抽出、防止、防衛を図るため推進している。 ・新型コロナへの対策を継続して実施中。 ・避難訓練を年に1回実施している。 ・人命優先の方針に基づき、災害発生後には安全確認システムにより、従業員および家族の安否確認を行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇入者向けコンプライアンス研修、新任課長に対する研修の際にパワハラ・セクハラ研修を実施している。 ・2018年度からはハラスメント全般に対する認識を深めるために、全従業員を対象に外部から専門講師を迎え研修を実施。 ・定期的にハラスメント理解度テストを実施し、再認識と現状把握を行いハラスメントのない職場環境の構築に取組んでいる。 ・社内、社外の相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生規則を定めている。 ・当社では「ゼロ災害へ全員参加」をスローガンに各工場の安全衛生委員会および全社統括となる全社安全衛生委員会を毎月開催している。 ・年間計画に基づき、各部署からの報告・確認、再発防止策の審議、安全衛生に関するルールの立案・設定などを継続的に行っている。 ・安全衛生パトロールの実施とその結果の是正や委員会で協議された内容は従業員に周知徹底している。 ・安全衛生ハンドブックを発行し、従業員への啓発を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・派遣・請負・契約・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・三六協定の特別条項を75時間に変更、また、社員が出張している日もすべて実時間での管理とし、社員の健康管理にもさらに注意を払う体制としている。 ・特定の日ではあるが、個人の希望により勤務時間帯を変更して通勤できる制度の導入。 ・有給奨励日や定時日を設けている。 ・産業医面談や勤怠システムを導入している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・毎月教育訓練として研修を開催している。 ・外部研修の受講費や各種資格取得の費用は会社が負担している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社内にトレーニングジムを設置している。 ・毎朝始業前にラジオ体操を行っている。 ・ストレスチェックの徹底。 ・人間ドックの経費補助を行っている。 ・健康診断を社内で実施している。 ・コロナワクチンの職域接種、インフルエンザワクチンの無料接種を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・再雇用者の希望と契約業務の内容をもとに就業日数や時間の調整ができ、各々のライフスタイルにあった働き方ができるように努めている。 ・障がい者向け就職説明会への参加や、Webページを使った広報など積極的に取り組んでいる。 ・女性管理職の比率向上に向け、管理職候補となる主任クラスに占める女性の割合を10%以上達成。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・Web会議の活用、テレワークの推進、変則勤務を行っている。 ・換気の徹底や消毒の徹底、また対面の場所には飛沫防止パネルの設置。 ・新型コロナに関する対応として通知し、具体的な行動に対する指針、感染者発生時の対応を従業員に周知している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・業務の効率化を図るべく、RPAの導入により定型業務の自動化を行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・「ISO14001」を取得している。 ・環境方針を定め、従業員に周知している。 ・廃棄物管理規定、危険物管理規定を定めている。 ・環境パフォーマンスデータにより産業廃棄物排出量を適切に管理し、削減に努めている。 ・水質汚濁防止法　有害物質使用特定施設の定期点検を年に4回(6.9.12.3月)実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・環境パフォーマンスデータによりエネルギー使用量を適切に管理し、削減に取り組んでいる。 ・省エネルギー推進担当者会議を行い、エネルギー使用量の周知や、節電対策の実施の周知、省エネ法の達成状況の確認など全社取組みとして行っている。 ・省エネ教育を行い社員への周知徹底を行っている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境パフォーマンスデータにより温室効果ガスの排出量を把握している。 ・エアコンを省エネタイプへ切り替え。 ・照明をLEDへ切り替え。 ・クールビズ、ウォームビズを行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境方針の中で、生物多様性保全を策定している。 ・廃棄物の適正な処理を行うことで、生態系の保全に努めている。 ・江津湖の清掃活動の参加。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・環境に配慮した資材 ・製品アセスメント実施により環境負荷を低減する設計、製造に務めている。 ・再生用紙の利用、ペーパーレス化の促進を行っている。 ・ゴミ分別の徹底。 ・電子決裁の推進。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水循環装置を導入し、地下水使用量はピーク時の1/5程度まで減らすことができている。 ・熊本工場水質測定を行い、濃度計量証明書を発行している。 ・節水の取組み。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境配慮商品として、エコ電動シリーズ開発。DC化することにより、省エネが可能となっている。さらに、AC電源や各種エア機器、駆動盤、コントローラー、インバーターが不要となり、省資源化を実現。 ・グリーン調達を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得している。 ・製品安全教育を行っている。 ・品質管理部や各事業部の品質管理部門を設置。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・本社ビルに、バリアフリートイレを設置。 ・その他施設へのバリアフリートイレ設置や障がい者が快適に過ごせるようプロジェクトを立ち上げている。 ・階段に手すりを設置。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・エコ電動システム（コンベア関連、ユニット組合せ関連、オプションパーツ関連）の商品化に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・令和2年7月豪雨のボランティアや江津湖清掃活動へ参加など積極的に取り組んでいる。 ・熊本の震災復興支援を目的とした株主優待制度を導入している。 ・ロアッソ熊本および熊本ヴォルターズのスポンサーとして地域スポーツの振興に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・年に1度避難訓練を行っている。 ・BCP方針、BCP体制を整備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsに関する意識づけのため、不定期で社員向け研修を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップの受け入れを行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。